

担い手確保に向けたHPによる情報発信と「新規就農セミナー」の開催

農業の担い手確保に資するため、新規就農者の取組を当拠点HPで紹介するとともに、セミナーを開催し、農業を職業にする魅力を発信。

○ 施策分類

新規就農

○ きっかけ・背景、課題の把握

首長やJA組合長との意見交換では、農業者の減少と確保が必ず課題に上がる状況。北海道内では担い手支援センター等を中心に新規就農支援を行っているものの、新規就農者数が3年連続過去最少を更新（R6調査）しており、離農者の農地をカバーするだけの就農者の確保に至らず、生産基盤の弱体化が懸念されている。

○ 取組の内容

農業の担い手確保を推進するため、令和7年6月から10月にかけて新規就農者に事例調査を月3件を目標に実施し、新規就農の動機や営農内容等をHPで22件紹介した。また、事例調査した者から、地域性や就農形態、営農形態等を勘案して人選を行い、それぞれの取組内容を報告してもらう「新規就農セミナー」を12月に開催した。農業を目指す者や学生等を対象とし、北海道庁や北海道農業公社、北海道農業法人協会の協力を得て実施した。

○ 効果・成果、今後の方向性

事例調査を通して、多様な年代の農業者との関係性の構築や地域農業に係る具体的な課題などを把握することができた。また、北海道庁HPとの連携により当拠点の発信チャンネルが広がったほか、関係機関との関係性が深まった。セミナーではオンライン含め80名以上が参加し、参加者から「大変貴重な話が聞け勉強になった」、「継続して開催してほしい」との声が寄せられ、本セミナーの有効性が確認出来た。

今後も新規就農者への事例調査を継続し、関係機関と連携しながら、経営発展に活用可能な施策の提案などを行っていく。



セミナー開催の様様



女性発表者

体制図

